

# 広報 心しん

NO. 151

49.2.10 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



「はんとう棒」今泉小学校 三年 渡辺辰男



# 富士市民意識調査

“市民が日常生活を通じて市の行政をどのようにみているか、何を期待しているか、などを知るために、昨年9月「市民意識調査」を行ないました。調査は市民の生活意識と市政評価、都市づくりと市民参加の2点を中心に18項目の質問を行ないました。この調査結果は、市がシビルミニマム（市民生活を営むうえで、都市が備えていなければならない最低限の基準）や、総合計画をつくる際の基礎資料に使っていきます。調査方法は、まず市内全域から24地点を選び、48年8月10日現在の選挙人名簿から1

地点30人、720人を抽出しました。このほか補充分として109人を用意したので、総数は829人です。地域は旧富士、旧吉原市街、東名以北の3ブロックに別けて集計しました。

調査は横山桂次中央大学教授を中心に、28名の学生の手で、面接調査、調査表の整理点検し、横山教授が調査内容を分析して次のような考察を発表しました。なお、調査に当たり該当者には大変ご迷惑をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました

## もっと公害に対して厳しい施策を

市民の生活意識と市政評価

### 多い道路、交通安全に対する要望

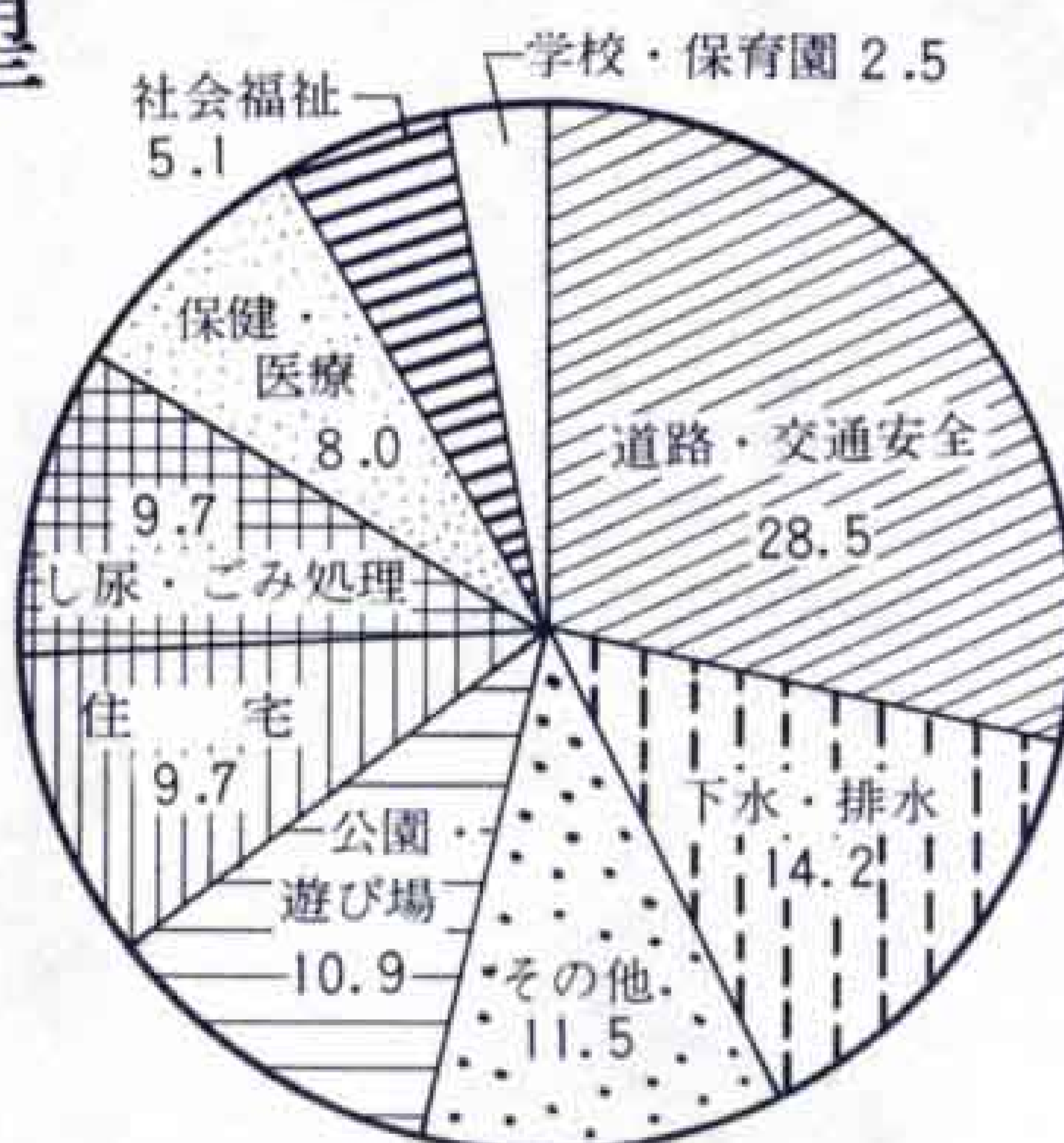
#### ■日常意識と実感

公害を別にして、身の回りでいま一番こまっていることは何か、道路・交通安全、住宅など8つの例を上げて選んでもらいました。

道路・交通安全28.5%、下水・排水14.2%、公園・遊び場10.9%などが多くなっています。しかし、東名以北では住宅、し尿・ゴミ処理が高く新興住宅地としての特色が表われています。

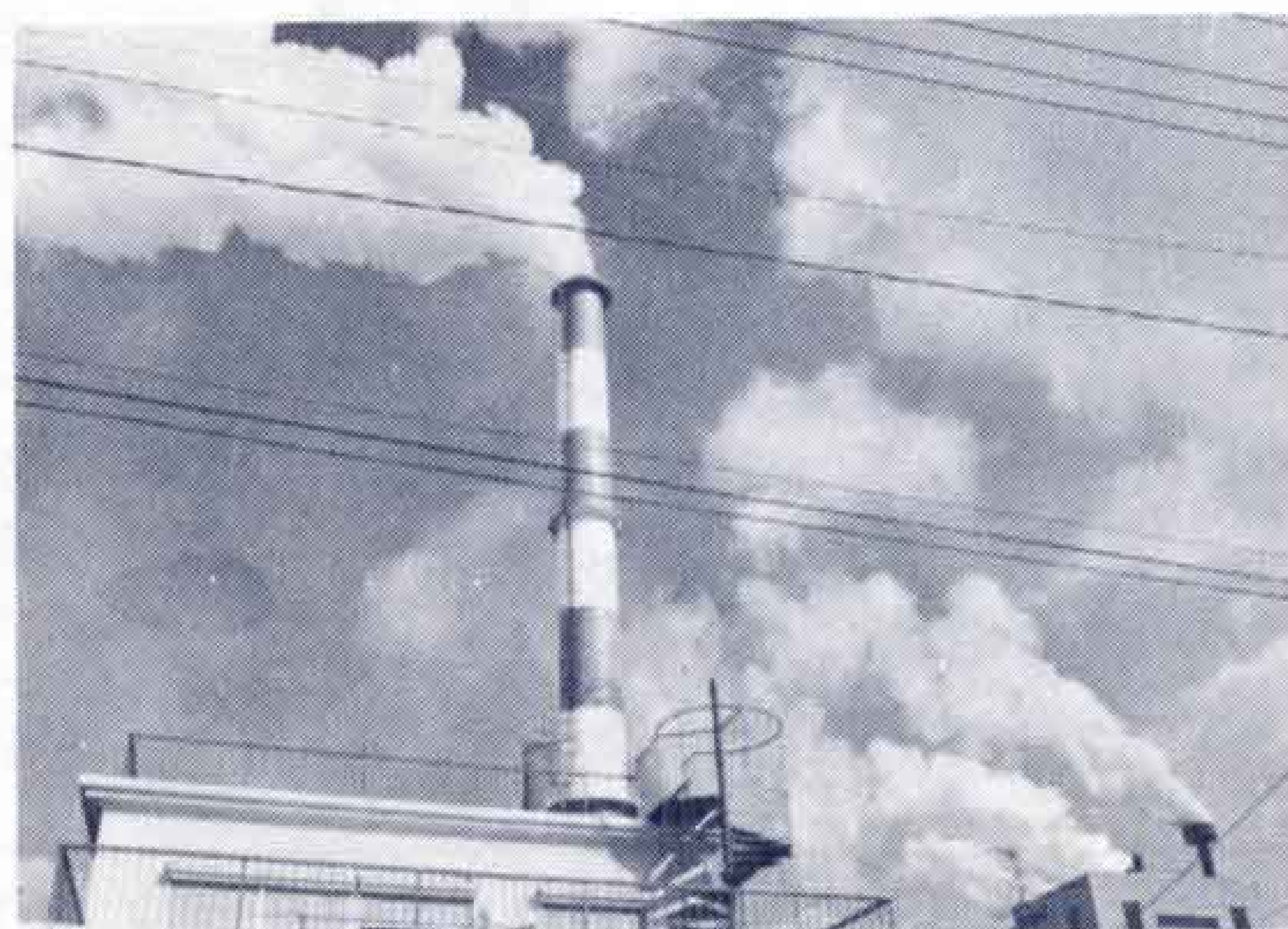
次に具体的に市の事業に対し市民がどのように評価しているか知るために、身のまわりのことが3~4年の間によくなっているかどうかを聞いてみました。

だんだんよくなっていると答えた人は4割以上で、行政の努力をかなり評価しています。しかし、富士42.8%、吉原市街40.9%に比べ東名以北は34.5%と、東名以北では市政が市民の要望に追いつかないためか、評価がやや低くなっています。



効果があがっているものとしては、全般的に道路・交通安全、し尿・ゴミ処理があげられています。地域別では、吉原市街が下水・排水、社会福祉が高く、東名以北では学校・保育園に対し効果を認めています。

【大気汚染の被害がもっとも多い...】

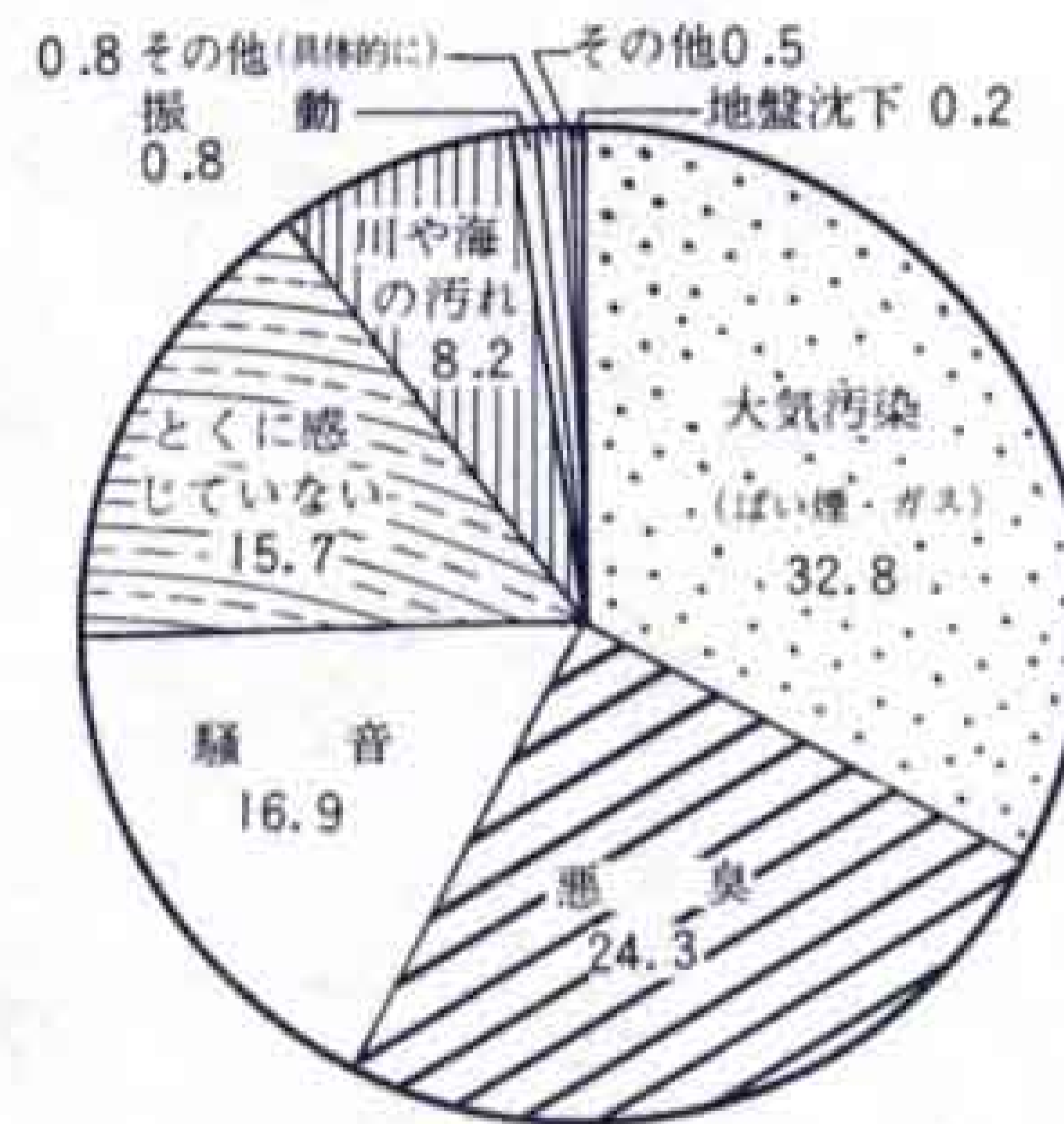


### 70%が公害対策はまだまだ

公害は市全体の大きな問題ですから、もっとも悩まされているものをあげてもらい市民の公害意識を調べました。

大気汚染が32.8%、悪臭24.3%、騒音16.9%の順になっています。この3つを合計すると実に74%にも達します。とくに、大気汚染を指摘する人は3分の1もあり、富士市の最大の問題のひとつが、いぜんとして大気汚染であることを示しています。

地域別にみると、富士地区では「川や海のよごれ」を訴えるものが、東名以北では「とくに感じていない」とい



う人が他の地域より多くなっています。また年代別では50代、60代にとくに感じていない人が多くいましたが、この年代は住んでいる年数も20年以上が多く、公害に対する「なれ」があるようです。

そこで、市民が感じる公害が、ここ数年の間に良くなっているかどうかをみると良くなったという人は2割に満たず、変わらない、ひどくなっていると感じている人が7割近くもあり、地域差もほとんどありませんでした。

次に公害防止や規制のために、市民は行政に何を期待しているかをみると、約半数の50%が公害防止装置を完備させる、次いで、公害の調査・監視を強化する21.4%が多くなっています。



## 老人福祉に高い評価が

### ■市政の個別評価

市がこれまで重点施策として実施してきたもののうち、市民によって評価されているものを調べてみました。これは市民が日常生活のなかで経験したり、実感としてもらった評価といえます。

昭和45年以降市が重点施策として掲げたものは

- ・45年度 公害対策、道路、都市開発、小学校の新改築
- ・46年度 上下水道整備事業
- ・47年度 公害対策、緑のまちづくり、下水道整備、ゴ

ミ処理施設、し尿処理施設の改良、老人医療費無料化  
 ・48年度 道路整備、区画整理、市営住宅、上下水道、ゴミ、し尿処理体制の整備  
 自然保護、市民の森公園、0才児医療費無料化、老人医療費無料化拡充（寝たきり老人60才に下げる）

以上のなかで、市民にとりわけ評価されているものは老人医療費の無料化です。次いで、市民相談室や懇談会などの実施、公害防止対策の順になっています。

### 市政の個別評価は

1、公害防止対策	9.2 <small>位</small>
2、老人医療の無料化	18.8
3、児童手当の支給や保育園づくり	5.2
4、小・中学校の新設やたてなおし	7.7
5、全部の小・中学校にプールや体育館の新設	7.8
6、道路の整備	5.3
7、交通安全施設の整備	2.3
8、市民相談や懇談会などの実施	10.6
9、その他	33.2

### ■施策の要求

## 60パーセントの人が医療施設の充実を要望

医療施設、公園・遊び場、クルマ対策、老人対策の4つをあげて、それぞれの具体的な要望を聞いてみました。

### 夜間や休日の病院を

まず、医療施設については6割以上の市民が「夜間や休日にみてる病院、医院が少ない」と答えています。これは、実際にそうした経験をもったというより、むしろそ

んな場合を想定すると不安だということだと思います。

### 気軽に行ける遊び場を

公園・遊び場については散歩する場所が少いせいか「すぐ行ける遊び場をたくさん作る」が3分の1もありました。公園の要望は各種の機能をもったものに平均化されていますが、この質問では男女のちがいがはっきり示されていま



【男子はスポーツ公園、女子は子どもの遊び場に要望が】

す。男性ではスポーツ公園、都市公園、森林公園の順になっており、余暇の過ごし方があらわれています。これに対し女性は子どもの遊び場、森林公園、スポーツ公園の順になっています。

### 安心して歩ける道路を

クルマ対策では「歩道・車道の区分をつける」と答えたものが3分の1以上おり、これに「安全施設」を要望するものを加えると、5割の人が安心して歩ける道路を求めています。

市の道路行政に第1に要求しているのは歩行者のための道路整備ですが、それと平行してかなり思いきったクルマ規制をすべきだと考える人も

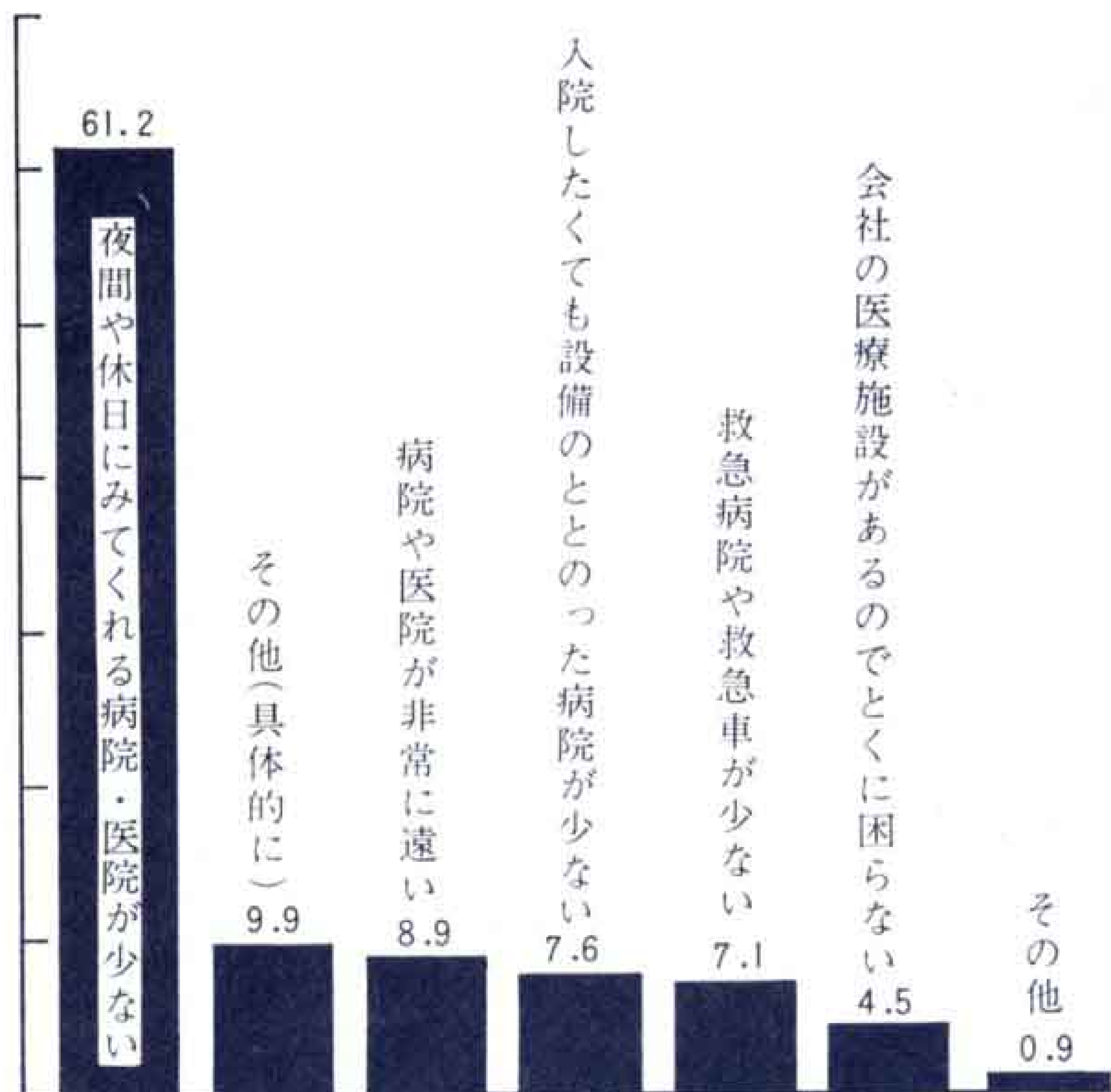
多くいます。

### 年金の増額を

老人対策では「年金の増額」を望むものが約30%もあります。次いで、就職のあっせんや働く場所をつくる、老人医療費無料化の年令を下げる、老人のための施設をふやす、の順で、これらの施策や施設が不十分なことを物語っています。

とくに再就職のあっせん希望者が多く、今後こうした施策がますます重要な課題になると思われます。なかでも若い世代に再就職のあっせんを望む声が多く、親の将来を自分の問題として考えているのではないだろうか。

(4ページへ)





■市政の全体的評価

約60<sup>パーセント</sup>が市政を評価

「市民を中心に考える市政」が、市政に反映されているかどうかを聞いてみました。この結果、まあ生かされている52.3%、あまり生かされていない24.5%、十分に生かされている5.7%、まったく生か

されていない2.6%、その他14.9%となっています。積極的に評価しているのは5.7%に過ぎませんが、これに消極的評価を加えるとほぼ6割の市民は現在の市政を評価していることになります。

この数字は、多数の市民が不満はあるにせよ市政を一応は安定したものとみていることと思います。しかし、積極的評価が少いことは、市政の今後の努力が必要なことを物語っています。

都市づくりと市民参加

市政への市民参加をもっと積極的に

今日の地域問題、都市問題を解決しながら都市づくりを進めることは、もはや市議会や行政だけでは不可能になっています。どうしても市民の協力あるいは参加によらなければならなくなっています。「市民のための市政」から「市民参加の市政」、たんに市民の日常的な要求や不満をきくという段階から、さらに進んで都市づくりに市民の創意と自発性を行政に反映させることです。このためには、行政から市民への情報が重要な意味をもっています。

そこで、市が昭和60年までの都市づくりの目標としてつくった「富士市第2次総合計画」がどの程度市民に理解されているか調べてみました。よく知っていると答えたのはわずか4%にすぎず、名前ぐらいは知っているものを合せても全体の3分の1にとどまっています。残りの3分の2の人たちは名前すらも聞いたことがないということです。この総合計画は45年につくられ46年にパンフレットで全戸に配布されています。それにもかかわらず多くの人たちが知

らないのは、総合計画の内容がほとんど机上プランであっ

て、市がこの計画を積極的に市民に知らせ、市民とともに計画の実現をはかることをしなかつたことも原因となっています。

総合計画を知った方法としては、広報ふじやパンフレットが67.2%、議員や市の職員から聞いたが12.3%です。



■都市づくりと市民の価値基準

ゴルフ場の開発などには73<sup>パーセント</sup>の人が反対



【乱開発にはほとんどの人が反対】

現在大きな問題となっている富士愛鷹山麓のゴルフ場開発問題と、将来ふたたび建設が示されれば市民の強い反対が予想される火力発電所問題を取りあげてみました。

ゴルフ場開発計画では、自然破壊や洪水などをまねくから認めるべきでないという意見が73.2%で圧倒的に多くありました。これは公害に悩まされている市民が、残された自然環境を守ろうとする意欲の強いことを示しています。

しかし、地元の利益につながるから認めるべきだという意見も14.3%ありました。

火力発電所の建設は、半数の市民が公害を理由に反対しています。しかし、それが産業発展に結びつくので、賛成している意見も31.1%あります。なお、市民の38.8%は火力発電所にもゴルフ場建設にも反対しています。これ以上の開発は、産業であれ、レジャーであれ環境破壊につながるから反対だという態度です



# 公共事業でも生活乱すもの には反対20パーセント

## ■市民参加への態度

富士愛鷹山麓の開発や火力発電所の建設など市民全体に大きな影響を与える問題を決定する場合、市はどのようなやり方をしたらよいか。

市政懇談会などで市民の意見をきき、それを参考にして決めるが3分の2の66.2%、市は市民の判断に従うが21.8%

で、約9割の人が市政上の重要問題は行政と議会だけで決定すべきでないと考えています。これらの点に関する限り富士市民の意識は都市型を示しているといえます。

都市計画なり都市改造など市が行なう公共事業が発表されたとき、どうするか。

ほぼ2割の市民は公共事業

であっても、生活を乱すものには反対する態度を示しています。これに対し8割近い人たちは補償や公害対策が納得できれば賛成する。さらに積極的に公共事業には個人の利益や権利を主張すべきではないという態度を示しています。全体としては公共事業に理解ある態度とみられます。しかし、公害対策や補償が充分であればよいというなかには、対策や補償が充分でない判断した場合には反対する可能

性もあります。

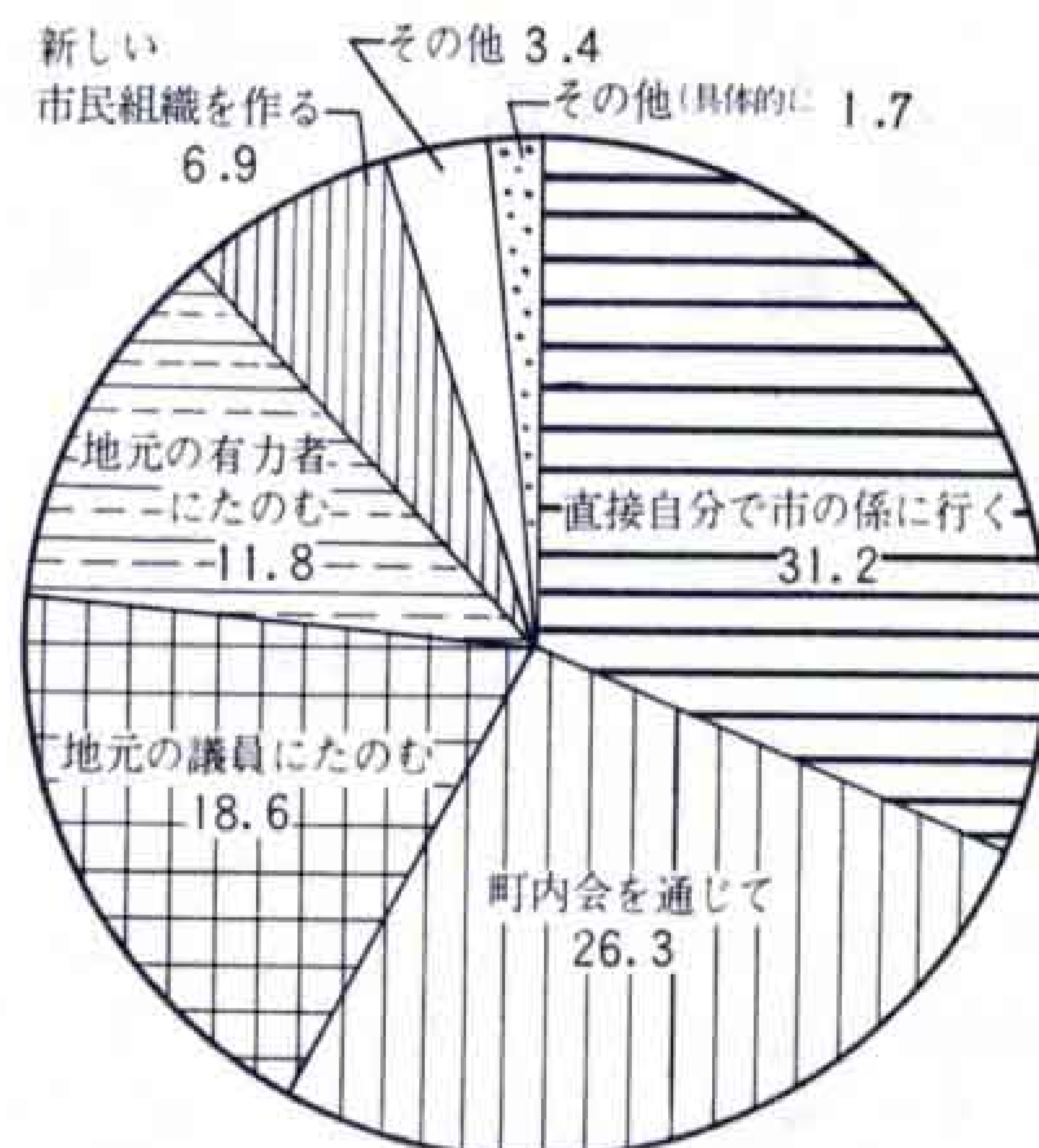
## ■不満の解決方法

市の仕事や自分の身近なことで、不満や問題がおこったとき、解決するにはどんな方法が一番早いと思いますか。

議員、町内会、有力者などに頼んで解決してもらおうが全体の6割近くを示しています。しかし、自分で市役所に出かけたり、新しい住民組織をつくったりして、個人の権利や利益を自主的に市役所に対して主張する形も38.1%と多くなっています。それだけ個人の権利意識が定着したとみられます。この傾向は東名以北の新興住宅地に強く表われています。



【市政の重要問題は市民の声を参考に】



## 住民運動への参加態度

1、積極的に参加する	15.4%
2、時間や経済の余裕があれば参加する	30.3
3、誘われれば参加する	7.5
4、あまり拘束がきつくなければ参加する	11.8
5、選挙や有力者の利益に利用されなければ参加する	16.9
6、参加しない	12.6
7、その他	5.3

## 生活を守る運動には 80パーセントが参加

### ■住民運動への参加態度

生活環境を守るための住民運動が起きたらどうするか。この質問では住民運動への参加意欲がどの位であるか調べてみました。

積極的に参加する、条件づきで参加の意思を示しているものを合計すると8割以上にもなり、市民の大部分は住民運動に参加する気持をもっています。これは、今日の市民の大多数によって承認されていること、つまり市民が利益を守る運動のひとつの形とし

て定着していることを示しています。この数字はあくまでも可能性を示すものであって現実の住民運動は常に特定地域の少数の人の運動にとどまる場合が多くなっています。しかし火力発電所のような全市的問題には多くの市民が参加する可能性もあります。

年代別でみると40代と60代に積極的に参加しようという人が多く見られ、住民運動が地域に定着し、生活を支えている人びとの運動であることを示していると思われます。





## 第1に落ち着いた 行動を

「グラグラグラ」と何の前ぶれもなく起きる地震。すこしの揺れでもいやなものです。これが、立っていることでもできないほどの揺れともなると、瞬間的にせよゾッとします。みなさんのお宅では地震の防災対策を家族や近所の人と話し合われたことがありますか。

普段、地震の時はこうしようと思っていても、実際に地震が起こると、ほとんどの人が自分のことだけを考え、行動してしまうようです。

日本は世界でもとくに地震の多い国です。地震そのものを防ぐことができないとしても、地震による被害を防ぐことはできるはずです。とっさのとき、落ち着いて行動しようといってもなかなかむずかしいことと思いますが、普段から心がまえをしておけば、万一の場合、おおいに役立ちます。

それでは、とっさのとき、どうしたらよいかまとめてみましたので、地震に対する心がまえの参考にしてください。

どんな場合でも落ち着いて行動することが第一です。大揺れは、案外短いものですから、あわてて外に飛び出したりしてはいけません。窓から飛び出して足をネ

ンザしたり、階段をふみはずしてケガをする。笑い話ではすまなくなります。

揺れがひどく歩けないときは、座ぶとんなどで頭をおおい、じょうぶな家具に身をよせてようすを見てください。家の中でも柱や壁の多い便所、ふる場は比較的安全です。

なお、地震の大きさは、「マグニチュード」、揺れの強さを「震度」で表わしています。一般的には、地域ごとに震度で表わしています。地震計に記録されても人体に感じないものから立っていることもできないほどのはげしい揺れまで、0から7までの8階級(表1)に別かれています。

### 震度階級

震度	名称	解説	震度	名称	解説
0	無感覚	人体に感じないけれど、地震計に記録。	4	中震	家屋の揺れが激しく、すわりの悪い花瓶などが倒れ、歩行者にも感じる。
1	微震	静止している人や注意深い人だけに感じる。	5	強震	壁に割目が入り、墓石などが倒れる。煙突や石垣に損害がでる。
2	軽震	大勢の人が感じ、戸障子がわずかに動くのがわかる。	6	烈震	家屋の倒壊は30%以下で、地割れができ多くの人は立ってられない。
3	弱震	家屋が揺れ、戸障子がガタガタ動き、電燈の吊りが激しく揺れる。	7	激震	家屋の倒壊は30%以上におよび、山くずれ、地割れ、断層などができる。





## 地震で一番恐いのは火災の発生

総理府が実施した「大都市住民の防災意識」についての世論調査の結果をみると、42%の人が災害のうち地震が一番心配、次が火災の33%と答えています。ところが、大地震が起きたときなにが心配かとの質問には60%もの人が「火災」と答えています。

たとえば、冬の東京で大地震が起こると、都内にある300万台以上の石油ストーブの1%から出火ただけで、都内はたちまち火の海となります。また、実際

にストーブの危険をみせつけたのは、昭和43年の十勝沖地震だといわれています。青森県十和田市内では、石油ストーブ100台に1台以上の割合で出火したそうです。ここで、特に注意しなければならないことは、石油ストーブは「倒れる」危険ばかりでなく、ストーブの上に紙などの燃えやすい物が落ち、出火するケースが多いということです。

そこで、関東大震災、十勝沖地震の倒壊率、出火率を富士市にあてはめ、被害を想定(表2)してみました。

	世帯数	倒壊棟数	出火数	延焼火災数	死者数
関東大震災	54,935世帯	873棟	165戸	66戸	11,488人
十勝沖地震			725戸(石油ストーブのみ)	290戸	

※人口197,056人(49年1月1日現在)、世帯数を建物棟数にあてはめて計算。

## もし火災がおきたら

- 火災がおきたらまず火元が何かよく確かめる。
- ガスコンロ、ガスストーブなどからの火災は、まずガスの元栓を締めてから消火する。
- 電気コンロ、コタツなどからの出火したときは、感電のおそれがあるので、まずコードの差し込みをぬき、配電盤のスイッチを切ってから消火する。
- 天ぷらなどを揚げている油に火がついたときは消火器で。消火器がないときは大きなぬれタオルをかぶせる。



## 火の始末=ようすをみてすばやく



- 石油ストーブの火はすばやく消す。
- ガスコンロ、ガスレンジ、ガスストーブ、ガス風呂などの元栓を締める。
- プロパンガスがもれていると、まわりの火が引火して、爆発するおそれがあるので、プロパン容器のバルブを締める。
- アイロン、コタツ、テレビなどの電気器具の差し込みをぬきできれば配電盤のスイッチを切る。

※昨年の7月1日から、石油ストーブは大地震のとき自動的に消火する安全装置が付いたものでなければ販売できません。また、52年7月1日からは、安全装置のないものは使用できなくなります。



# 地震だ……

## これだけは忘れずに

- 手早く火の始末（ガスの元せんもしめよう）
- あわてて外にとび出すな
- 火が出たらみんなて協力、消火が第一
- 持ち物は最小限に
- 避難は近くの避難場所へ
- 避難は歩いて、自動車は絶対使うな
- 津波、ガケ崩れに注意
- 秩序は絶対守ろう

### 非常持出品

#### ■食料品

乾パン・かん詰め・塩・水

#### ■薬品

消毒薬・きず薬・包帯・三角巾

#### ■衣類などの身の回り品

下着類・タオル・手袋・毛布・リ

ュックサック・トランジスターラジオ・ヘルメット・懐中電燈・水筒・マッチ・ローソク

#### ■貴重品

現金・貯金通帳・重要書類・印鑑  
貴金属

### 指定避難場所

市の指定避難場所は、41カ所にあります。建物の中は危険ですから、学校の運動場や公園などを指定してあります。万一の場合は近くの避難場所へ。

#### ■吉原

吉原小学校・市役所駐車場・市民公園・南町公園

#### ■伝法

伝法小学校・吉原第1中学校

#### ■今泉

中央図書館広場・今泉小学校・吉原第2中学校・県立吉原高等学校・神戸小学校

#### ■広見 広見小学校

#### ■元吉原

元吉原小学校・元吉原中学校

#### ■須津・浮島

須津小学校・須津中学校・東小学校

#### ■吉永

吉永第1小学校・吉原商業高等学校・吉永第3中学校・東中学校・昭和幼稚園・吉永第2小学校・吉原第2小学校勢子辻分校

#### ■原田

原田小学校

#### ■大淵

大淵第1小学校・大淵第2小学校  
大淵中学校

#### ■富士駅北

富士第1小学校・富士中学校・県立富士高等学校・富士見高等学校

#### ■富士駅南

富士第2小学校・富士南中学校

#### ■田子浦

田子浦小学校・田子浦中学校・田子浦幼稚園

#### ■岩松

岩松小学校・岩松中学校

#### ■鷹岡

鷹岡小学校・鷹岡中学校

#### ■伝法・鷹岡・大淵

丘小学校



### 木造の建物の中では

- あわてて外に飛び出さない。
- 押入れや玄関、便所など柱の多いところ、じょうぶな机やベッドなどの下に身をかくしてようすをみる。
- 窓や階段には近よらない。
- 倒れやすい建物の中にいて、危険を感じたときは、頭に座ぶとんなどをかぶって、近くの広場か、鉄筋コンクリートビルに避難する。



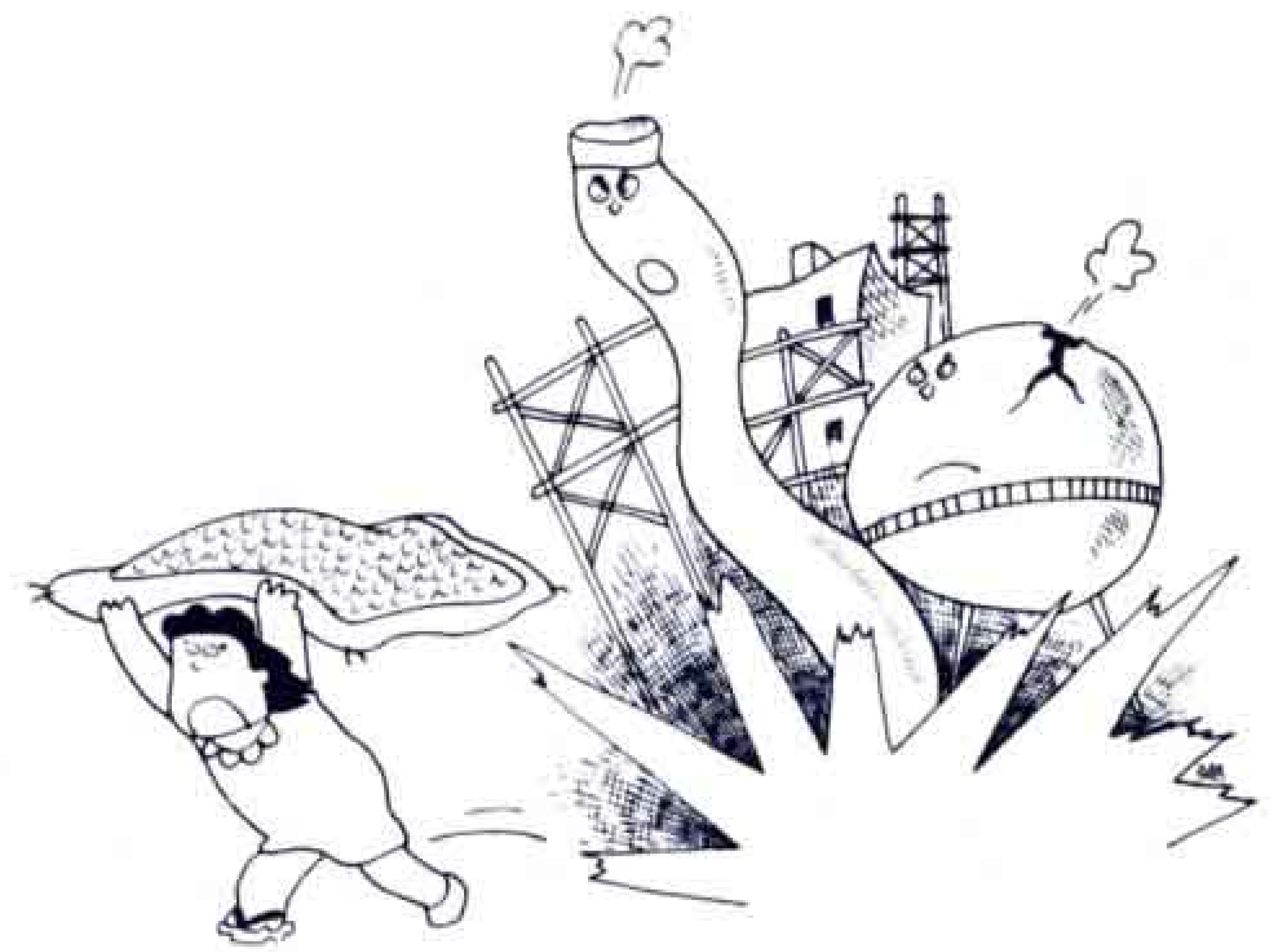
### 1分すぎたらまず安心

大きな地震でも、瞬間的に建物が倒れたりすることはありません。はじめに初期微動があり、続いてはげしい揺れがきます。しかし1分以上続くことはありません。



### 自動車を運転しているとき

- 徐々に速度を落とし、道路の左側に停車してエンジンを切って様子を見る。
- カーラジオで交通情報、火災情報、津波情報などを聞く。
- 避難するときは警察官、消防関係者などの指示にしたがい、決して自動車を使わず歩いて避難する。
- ガス管が破損してガス漏れがあるときは、エンジンのスパークなどで引火するおそれがあるので、エンジンは直ちに止める。



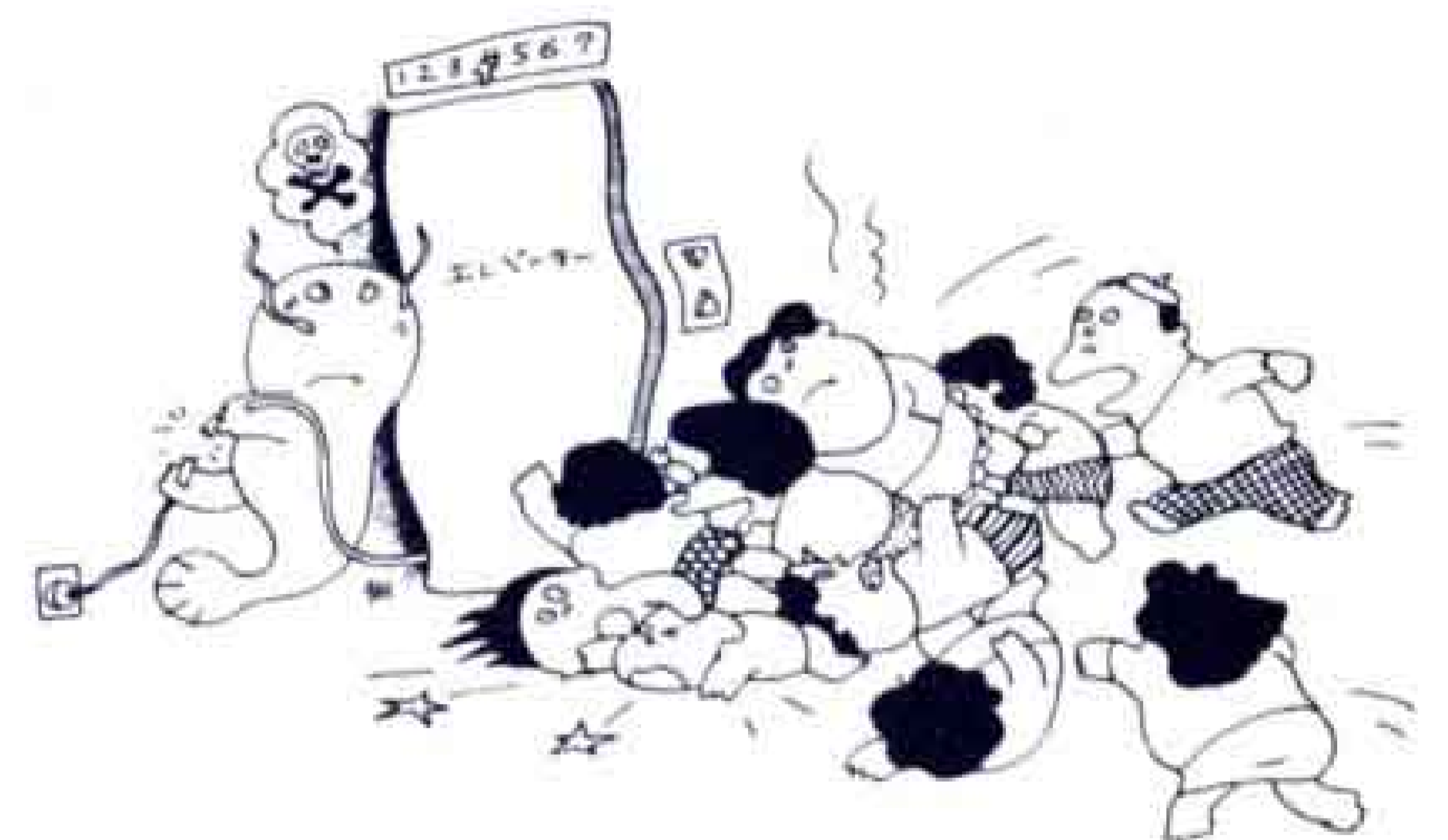
### 道路や商店街などにいるとき

- 道路、とくに商店街では、かわら、看板窓ガラスが落ちてきたり、電柱が倒れたりすることがあるので、かぼんや買物かごなどで頭をおおい、近くの鉄筋のビルか、広場に避難する。
- 高い煙突、石油スタンド、ガスタンク、建設現場などからはできるだけ遠くへ避難する。

### 団地やマンションなどの中では

- 鉄筋コンクリートビルは、大きな地震にも耐えられるように建ててあるので、あわてて外に飛び出す方がかえって危険です。

- 窓ガラスには近よらない。
- エレベーターは、停電などで止まることがあるので近よらない。



### デパートやスーパーなどにいるとき

- デパート、スーパーマーケット、映画館などは、倒れないように建ててあるので、あわてて外に飛び出さない。
- 天井やタナなどから落下物があるといけないので、上衣や持っているもので頭をおおう。
- 停電で一時的に暗になっても、誘導灯がすぐつくので、あわてて出口や階段に殺到しない
- 責任者の指示にしたがう。







前回から私の体力づくりということで、自分に合った運動をしている方に登場していただき、運動をはじめたきっかけや始める前と現在を比較して様子をうかがっています。今回は井出武義さん（津田・50才）に登場していただきました。みなさんも、自分にあった運動を毎日続けて、体力づくりを行なってみませんか。

## マラソンで病院生活とお別れ

井出さんは毎朝走ることによって体力づくりを進めています。

まず走りはじめたのは、3年前の昭和36年1月15日で、市教育委員会の呼びかけによる「走ろう会」に参加してからだそう。この時、体力づくりの大先輩である鈴木力さん（今泉9・62才）と一緒に、「人間は健康でなければ人生が楽しくないよ。健康には走ることが一番いいよ。」と聞かされ、本当にそうだなあと感じたということです。

それまで、井出さんは心臓の機能がおもわしくなく、病院生活を2度にわたって送り、血圧も高く頭痛に悩まされ、息

切れがして階段が登れないし、体重も78キロと自分で靴のヒモが結べない状態だったということです。今の井出さんを見ているとまったく想像ができません。

走るようになってからは、「よく眠りなんでも食べれるようになった。体重も68キロになり、血圧も下がって毎日が楽しい。心臓の方も医者がびっくりしたほど調子がよく、病院とも縁を切ったよ」と笑顔で話してくれました。

今では毎朝4時間ぐらい走って汗を流し、朝日に映える富士を眺め、澄みきった空気を胸一杯吸うことに何ともいえないしあわせを感じる — と走ることを心から

楽しんでます。

井出さんのお話をうかがっているうちに、「しあわせは自分でつかむものだな」と思いました。健康に恵まれないと思ったら、自分にあった体力づくりをしなければならぬのだと痛感しました。



## 「バラ」のせんてい講習

花の会は市の花「バラ」のせんてい講習会を行なっています。講習には副会長の米山努さん（今泉2・67才）が各地区を回りました。米山さんは、4年前から市の花「バラ」の普及と、良い花を咲かせてもらおうとはじめたもので、消毒の

仕方、肥料の与え方などバラを育てるのに必要なことを花の会会員や地域の花の好きな人たちに指導しています。

なお、花の会では6月に「ツツジ」「サツキ」のせんてい講習会を各地区で行なう予定です。



## 緑と花の相談コーナー

**問** バラのせんていの時期はいつですか

**答** 四季咲きのバラは1月下旬から2月下旬までが適期です。せんていは、良く切れるハサミを使ってください。

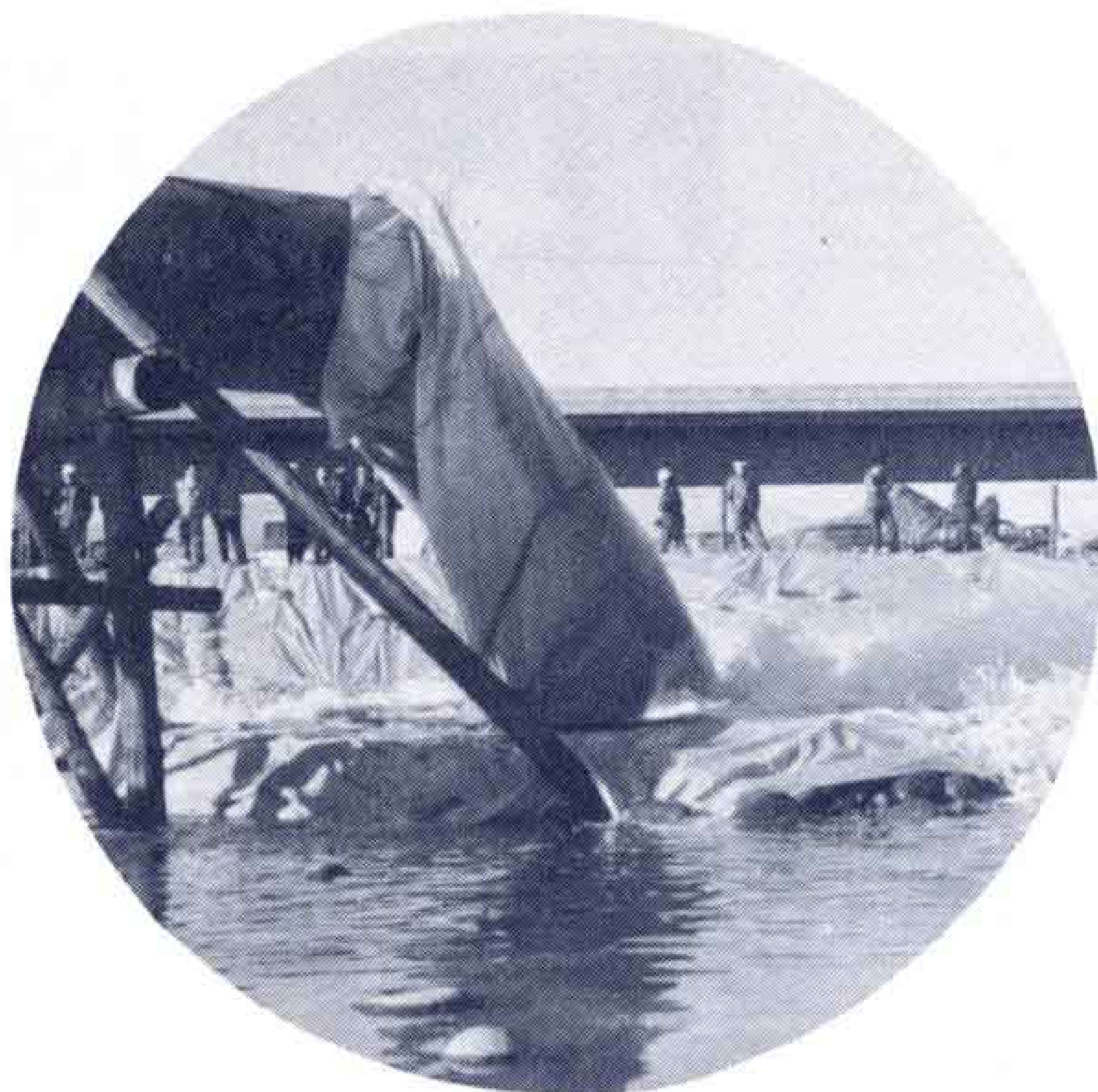
- せんていの順序は
- ① 枯れ枝、細枝、病気の枝を切る。
  - ② フトコロ枝を切る（株の中心で混みあっている枝）
  - ③ 接近し平行している枝のある場合は、芽が伸びたときにあやにならないように切る。交差している枝も交差しないように切る。
  - ④ 外見は太って立派でも、前の年の秋おそくてた枝で、やわらかくフカワカしている枝を切ってやる。枝の切り方は芽の上5～8ミリぐらいの所を芽と平行に切ってください。





■富士リードオーケストラが結成

富士リードオーケストラの結成記念演奏会をこのほど吉原市民会館で行ないました。富士リードオーケストラは市民の音楽愛好者が集まって結成したもので、団員は小学生から一般まで45人の大世帯です。練習は1年ほど前からはじめ、毎週1回市民会館のステージに集まって行なっています。



■第3次ヘドロ処理再開

田子の浦港の第3次ヘドロ処理作業が1月22日から再開されました。今回は6月までに72万トンのヘドロを処理する予定です。

■ガダルカナル島からお客さん

ソロモン諸島のガダルカナル島といえば、第2次世界大戦の激戦地として有名ですね。このガダルカナルから、全国ソロモン会の招きで、ビンセント・ラウメイトさん(21才)が来日していますが、1月28日市役所を訪れ、渡辺市長と現地の様子や日本の印象など話しました。



■須津公民館で文化祭

公民館活動を大勢の人に知ってもらおうと、須津公民館は、1月19日と20日の2日間、第1回須津地区文化祭を行ないました。子どもたちが書いた絵、お母さんたちの手芸、おばあちゃんがつくった小物入など1000点余りを展示したり、須津小学校の体育館で児童劇、ブラスバンドの演奏など、みんなで楽しみました。







### 岩松中でテングス病を防除

サクラの木をテングス病から守ろうと、岩松中学校では、1月28日、サクラの保護士や市みどりの課職員から防除法などの講習を受け、作業を行ないました。テングス病になると幹や枝の一部がふくらんで、小枝が竹ぼうきのようにむらがって出ます。そのままにしておくと枝全体が枯れてしまうので、病気にかかった枝を切り捨ててやらなければなりません。みんなも家のサクラを点検して、病気を見つけたら手入をして下さいね。

わんころし  
作品



〔評〕筆の運び、筆の勢いも申し分のない立派な出来ばえです。ただ「海」のへんとつくりの間を少し離すと、なおよくなります。(青木臨川)

### もうすぐ1年生

市内の小学校では、今年の4月に入学するよい子の健康診断や知能テストを行なっています。4月から1年生になるのは3658人で、男の子が1879人、女の子が1779人です。

【写真は伝法小学校の健康診断】



## 私のランドセル

伝法小学校6年 佐野優美



あすは入学式という日、私たち6年生は、1年生の教室のかざりつけのために登校した。前と後ろの黒板に、色とりどりのチョークで、新入生を迎えるために絵をかいた。色紙のくさり、大きなくす玉。みるみるうちに教室は美しくかざられていった。机の上に、教科書と黄色い帽子をのせていくとき、私たちにもこんなことがあったのだなあとおかしくなってきた。

6年前のあの日。入学式が終わって、お母さんと手をつないで教室へはいつてきた。どんな友だちがいるかなと思ってはいった教室。みんなの机の上には、やっぱり黄色い帽子とランドセルがあった。ランドセルはみんなピカピカしていた。このピカピカしているランドセルで、今日から学校へいくんだと思うと、とてもうれしかった。

それから6年。ランドセルは1日ごとに古くなって、今ではあちこちが

はげて、ひももゆるくなってしまった。みんなのまねをして、ワツペンをすみにはった。あれは4年のときだった。

小学校生活の思い出は、みんなランドセルの中に入っている。ランドセルを見ていると、6年間の学校生活が次々に思い出される。「遠足」「運動会」「社会科見学」「緑の学校」「修学旅行」楽しかった行事には、一度もつれていけなかった。中学へ行けば、このランドセルは2度と使わなくなる。真新しい手さげカバンと並べてみた。ピカピカの手さげカバンと、しわくちゃのランドセル、なんだかランドセルがかわいそうになってきた。

